

INTERVIEW

■ 常陽銀行

外国為替をはじめ総合的なコンサルティング業務を通じて ステークホルダーの価値創造の実現を

茨城県に本拠を置く常陽銀行は、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を目指すめぶきフィナンシャルグループの一員として、地域の課題解決に幅広く取り組む地域金融機関です。外国為替をはじめとする総合的なコンサルティング業務を通じて、地域社会・取引先とともに課題を解決することにより、ステークホルダーの価値創造や自らの企業価値の向上を実現することを目指した取組みを続けています。

今回取材に応じていただきましたのは、人事部人材開発戦略室室長の兼山礼一郎さんと同調査役の横須賀優一さんです。

Q 人材育成教育・研修体系について教えてください。

当行は、「専門的なスキルを有する人材、新たな価値を創造する人材、事業環境の変化に適応し続けられる人材の育成を目指す」とする、めぶきフィナンシャルグループの定める「人材育成方針」に沿って、各階層や担当業務等の役割に応じた研修を企画・実施しています。研修においては、アクティブラーニングをベースとした、インターバル研修の比重を増やしています。研修で学んだことを、実際に業務内で実践して、その中で生まれた課題を次回の研修の際に持ち寄り、さらなる学びにつなげる経験学習サイクルを回すことにより、実践的なスキルを習得する機会を多く設けるようにしています。



▲ 常陽銀行 研修センター

Q 検定試験「外国為替3級」の受験を推奨いただいている背景やその目的を教えてください。

現在のグローバル社会においては、海外進出や海外送金等の国際的な取引のニーズはますます高まっており、そのご要望にスムーズに対応していくための外国為替業務の知識は、対顧客サービスの質を左右していくものと考えています。当行では総合的なコンサルティング業務の一環として外国為替業務を位置づけており、外国為替の基礎的な知識はとても重要だと認識しています。法人業務で一定のスキルを有するようになった行員が「外国為替3級」にチャレンジしていくような行内資格の認定制度を設けており、「外国為替3級」の受験を通じて、外国為替や国際業務に関する基礎的な知識を習得し、総合的なコンサルティング力・提案力を高めてもらいたいと考えています。

また、外国為替の知識を身に付けることで、

お客様へのご提案の幅が広がるだけでなく、外国為替関連のお取引をきっかけとして、他のお取引にもつながるなど、お客様から信頼をいただけるようになるのではないかと考えています。

Q どのような方が「外国為替3級」を受験されていますか。また、ご受験いただいた効果として感じられていることはありますか。

本部の外国為替の関連部署にいる行員の受験もありますが、最も受験が多いのは、営業店で実際に法人のお客様を担当している行員です。

受験の効果の1つとして、営業店での業務の中で外国為替事務に触れる機会が減ってしまったことへの補完につながっていると感じています。現在、店舗の効率化等の観点から、外国為替関連事務は本部集中を進めていることもあり、以前よりも外国為替の事務を通じて外国為替を学ぶ機会が少なくなっているという実態があります。そこで「外国為替3級」の受験に向けた勉強を通じて、以前は日常の業務で身に付けていた基本的な知識を習得してもらうことにより、お客様に対して自信をもって外国為替関連のお取引等のご提案をすることにつながっていると思います。

Q 貴行が現在力を入れている業務や、目指している、地域やお取引先に対する役割を教えてください。

今年度からめぶきフィナンシャルグループの新しい中期経営計画が始まり、その中で地域やお客様に対して優先して取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として、地域産業の成長支援、安心で豊かな暮らしへの貢献、脱炭素社会や環境保全への貢献を掲げています。当行もめぶきフィナンシャルグループの一員として、法人のお客様に対しては、持続的成長に向けた円滑な資金供給、事業継続力強化に向けた円滑な世代交代支援、多様化している経営課題の解決に向けた伴走型支援・



▲ 左から 横須賀優一さん、兼山礼一郎さん

コンサルティング機能の発揮などに注力しています。また、個人のお客様に対しては、人生100年時代のサポートとして、お客様の目標や夢の実現に向けた資産形成支援、次世代への円滑な資産承継支援などに特に力を入れて進めています。そのような事業者の成長を支えるソリューション提供、および人生100年サポートとともに、地域の持続性向上に向けた支援・地方創生への取組みの強化を進めていくことが、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を目指すめぶきフィナンシャルグループの一員としての当行の役割だと考えています。

Q 最後に、貴行が求める人材、人物像を教えてください。

めぶきフィナンシャルグループの「人材育成方針」の中で9つの能力要素として、コミュニケーション力、コーディネート力、企画力、分析力、専門的なスキル、チャレンジする精神力、構想力、想像力、リーダーシップを定めています。これらの能力を必要なタイミングで身に付け、アップデートしてもらいたいと考えていますが、そのためには自律的な成長が必要不可欠です。各行員がキャリアを形成していくうえで必要な能力を自ら獲得し、自分自身をアップデートすることができる行動力やマインドをもって人材が求められると思います。

(お忙しいなか、取材にご対応くださいました兼山室長と横須賀調査役に心より感謝申し上げます)